

営 農 情 報

令和4年4月15日

第6号

春まき小麦の土壌処理について

現在、管内の春まき小麦の播種作業も順調に始まっておりますが、播種後の土壌処理剤の散布も忘れず行いましょう。

薬 剤 名	使用回数	使 用 時 期	10a当たり 施用量	備 考
ガルシアフロアブル	1回	・ 全面土壌散布 (小麦1～3葉期)	200ml	-
ガレス乳剤	1回	・ 全面土壌散布 (小麦出芽前)	200～250ml	-
トレファノサイド乳剤	2回	・ 全面土壌散布 (小麦出芽前)	200～300ml	-

秋まき小麦（きたほなみ）の赤さび病防除について

近年、昨年多くの圃場で赤さび病の発生が確認されております。赤さび病は干ばつで発生やすくなりますので適期を逃すことなく、可能な限り早めに防除を実施しましょう。

○赤さびに効果のある薬剤

薬 剤 名	使用時期	処理濃度	散布液量 (L/10a)	備 考
ミリオネアフロアブル	4月下旬～ 5月上旬頃	4000倍	60～150	昨年赤さび発生 が確認された圃 場は必ず散布す る。
イントレックスフロアブル		2000倍	60～150	

秋まき小麦の除草剤散布について

除 草 剤 名	使用回数	使 用 時 期	10a当たり 施用量	備 考
アクチノール乳剤	2回	・ 穂ばらみ期まで ・ 雑草生育初期	100～200ml	-
エコパートフロアブル	2回	・ 広葉雑草2～4葉期 ・ 小麦止葉抽出前まで ・ 収穫45日前まで	50～75ml	高温時の 散布は避ける
MCPソーダ塩	1回	・ 幼穂形成期 ・ 収穫45日前まで	200～300g	平均気温10℃ 以下効果減少
バサグラン液剤	1回	・ 小麦生育期 ・ 雑草3～6葉期 ・ 収穫45日前まで	100～200ml	-
ハーモニー75DF水和剤	1回	・ 幼穂形成期 ・ 収穫45日前まで	3～5g 3～10g	他薬剤混用×